

# 神戸大学医学部附属病院

## 放射線腫瘍科

### 指導担当医（役職）

妹尾 悟史（助教）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

#### 概要

臨床実習1や講義だけではなかなか触れる機会のない、放射線治療について学びます。初日に個人の希望を聞き、詳細は個別に設定します。外来担当医の外来に同席して放射線治療の実際診療を見学したり、希望があれば数人の患者を受け持ち、医療面接と身体診察を行います。担当の放射線治療患者につき、画像やそのほか検査データの見方、治療計画装置のしくみの解説を受け、実際に治療計画装置のコンピュータで患者治療のシミュレーションを行うことも可能です。小線源治療という手技をとまなう放射線治療に関しては手技の見学だけでなく、模型やシミュレータを用いて実習を行います。

#### 実習スケジュール

月曜日： 外来（石原）・治療計画

火曜日： 外来および小線源治療見学（妹尾）

水曜日： 外来（宮脇）・治療計画

木曜日： 外来（佐々木）・治療計画

金曜日： 外来および小線源治療見学（妹尾）

## 学生へのメッセージ

放射線治療は学生さんにとって、なじみのない治療かもしれませんが、がん治療の三本柱として重要な治療であり、国試での出題も増えてきている領域です。放射線腫瘍科で扱う疾患は頭の方から足の先まで幅広く発生する腫瘍を対象としています。実習を通して、全身のあらゆる検査を、癌治療にかぎらず、実際の患者さんを診察しながら学んでもらえればと思います。

がん治療は集学的治療であることが多く、他科の先生方とのカンファレンス（意見交換）、看護師、医学物理士、放射線技師など他職種と、一人一人の患者さんにとって一番良い医療を提供できるように日々話し合いながら診療をしています。そのような実際の現場を、医師免許を持つ前に目の当たりにすることが、がん治療に限らず、医師として成長していく後押しになるのではと思います。

がん治療に興味のある方、単一臓器だけに専門を絞り切れない方、いろいろご相談に乗れることもあるかと思いますので、気軽にご相談ください。